

【様式①】令和4年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 岐阜市立岩野田北小学校

校長名 鬼頭 利成

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
学校・家庭・地域との協働による指導体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・専門能力スタッフやコミュニティ・スクール等の地域人材を積極的に活用する。 ・いじめ対策について、校長、いじめ対策監のリーダーシップのもと、地域や家庭と連携を密に図り、即日対応する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止に努めながら、コロナ禍でもできる活動を行うにあたって、コミ・スクのボランティアや学習ボランティア、学習見守りスタッフ等を積極的に活用し、地域コミュニティと協働し児童の指導にあたることができた。 ・「いじめはぜったにダメ」を合言葉にいじめやその疑いのある事案について即日対応できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍であっても、家庭や地域と連携し、児童を指導できている。 ・いじめは絶対にしないという気持ちが児童に定着し、職員集団もいじめ事案を即日解決することや、子どもに寄り添う姿勢が徹底していることが感じられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も学校・家庭・地域でめざす子ども像を共有し、様々なリソースを活用しながら育成できるよう、引き続き、チーム学校を実現する。 ・児童自身が「いじめを解決する力」を身に着けるように指導していく。
学習指導要領の趣旨を十分に踏まえた社会に開かれた教育課程の編成と実施	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域における、めざす子ども像の共有と、その実現に向けた教育課程を編成及び実施する。 ・コンパスカリキュラムを活用し、単位時間において、効果的にICT機器を活用した教育課程を実施する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の学校評価アンケートの結果を受け、保護者や地域とめざす子ども像を共有し、子どもたちを支援することができた。 ・コンパスカリキュラムを活用し、効果的にICT機器を活用した教育課程を実施することを学校の研究主題に設定し取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市から貸与を受けたタブレット端末を授業で大いに活用できており、子どもたちの学習効果も上がっていると感じる。そのため職員研修も積極的に行っているようである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もコンパスカリキュラムを用いながら、タブレット端末を中心とした効果的なICT機器を活用し、職員全員が共通理解を図り、教育効果の最大化を図るようにする。
幼保小連携や小中一貫の考えのもと、地域人材を活用した学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区で連携し、登下校等地域におけるあいさつに重点を置いた発達段階に応じた指導を継続する。 ・地域の幼稚園長を学校運営協議会委員に位置付け、幼保小連携に基づく活動の発展、充実を図る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、新型コロナの影響で積極的な幼保小連携や小中の連携を図った活動が難しかった。 ・学校運営協議会委員である幼稚園長に授業参観で直接子どもの姿を見ていただき、助言を頂いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の学校評価を受け、家庭・地域・学校が共通理解を図り、児童のあいさつを高める取組ができた。その結果、地域でのあいさつの様子や学校評価の値もよくなっており、評価できる。今後も、家庭や地域と連携してあいさつを高めていけるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、向上したあいさつの姿を、次年度も継続できるよう、児童会を中心とする子どもたちの自主的な取組を、PTAと共に支えていく。また、手本となる、大人のあいさつの重要性(家庭や地域、職員)を年間を通して行う。
教育環境と学校財務環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職や校務主任を中心として、安心・安全な教育環境のための点検整備の確実なチェックと校務員との連携を図る。 ・教育効果を上げるための適切な予算執行を図る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校務員、校務主任と連携を図り、毎月の安全点検結果に基づき、子どもの安全にかかわる箇所について、迅速に修繕を行うことができた。 ・PTA本部役員と連携を図り、購入予定物品等を修正し、適切な予算執行に心がけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安心安全な学校生活のために、安全点検及び修繕ができています。また、教室や廊下の整理整頓がされている。 ・学校に必要な物は、その都度、PTA本部役員と連携を図りながら、適切な予算執行ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、各教科・指導部会から出された予算要望について、企画委員会で検討しながら優先順位を検討し、決定していく。 ・コミュニティ・スクールの予算案についても、学校運営協議会や支援推進委員会において丁寧な説明し、適切な予算案を作成する。
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域と連携を図り、様々な非常事態等における「自分の命は自分で守る」ことの意識を醸成する。 ・緊急時の教職員の共通理解、共通行動を徹底する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区で土曜日の引き渡し訓練を実施した。家庭との連携も図れた。実施したことで、新たな課題が確認できた。 ・「自分の命は自分で守る」を合言葉に火災や自然災害だけでなく、新型コロナウイルス感染症の感染予防にも努めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中合同の引き渡し訓練を行うなど、家庭との連携が図れた。さらに地域との連携も図っていく必要がある。 ・「自分の命は自分で守る」の合言葉の下、新型コロナウイルス感染症の感染予防に児童が一生懸命に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年続けて延期された「地域と連携した防災訓練」を中心に、中学校区の小中学校、自治会、消防団、水防団等の組織との連携の在り方の見直しを図る必要がある。

HPアドレス: <http://gifu-city.schoolcms.net/iwanodakita-e/>